

# フクダリーユース

発行



(株)フクダ

砕石部

## 砂プラント再開



例年より一ヶ月早く砕砂プラントの稼働を再開いたしました。寒中からの操業ということで実績のある岩泉の湿式プラントを見学させていただき、肝心なところはカバーし、シートで覆い、灯光器を設置し、準備万端、相当の覚悟で稼働を開始いたしました。

ところが、今年の冬は朝晩の冷え込みも弱く、日中も真冬日になることもなく予想以上に順調な稼働ができています。このまま穏やかな春が迎えられるればいいのですが。

## 生き抜く根性

ちょっと珍しいピンクのネコヤナギをいただいて、牛乳ビンにさしておいたら水に浸ってる幹のあちこちに白いひげ根が出てきた。環境が変わっても不平も言わず、生きること一生懸命なネコヤナギはなんとものもしい。



白い根が..

## ♪ 現在・過去・未来 ♪

事務所内に3ヵ月カレンダーが貼ってある。先月の10日は何曜日だったっけ？ 来月の第3月曜日は何日？ という具合に月をまたいでカレンダーを見たい場面がよくある。そのために今までは2枚のカレンダーを貼っていたのだがちょっとした工夫で一枚で足りることになる。ぼんやりこのカレンダーを眺めていると過去、現在、未来が一望でき、時間は切れ目なく繋がっているのだということが実感できる。枠を取りはらってみると違うことが見えてくるかもしれない。



超便利！



## ～運賃の話～

砕石価格のうち、大きなウェイトを占めるのが運賃である。遠くになれば尚更である。重くてがさばり、安価な商品であるので、ちょっと遠くまで運搬すると、商品より運賃の方が高くなる。

買う側の立場になって考えると、商品の価値より運賃が高くなると、いったい何を買っているのかがわからなくなってしまっただろう。

運賃算定要因のうち、時間（速度）と距離は変えようがないので単位数量あたりの運賃は、1台（回）当たりの積載量で変わってくる。ゆえに10t積みの車両と、15t積みの車両では大きな方が割安となる。

しかし、最近の車両は排ガス対策等で車両が重くなり積載量が減少している。運送業の健全な発展を前提として、運搬コストについて真摯に考える時がきているのだと思う。



## 商店の憂鬱

田舎の万屋風の商店で現存しているお店に滅多にお目にかかることはない。オロナミンCとか金鳥蚊取り線香のレトロな看板が残っていて、昔は繁盛していたのであろうとわずかに名残をとどめている。

そんな世の移り変わりの中で、荒屋新町の橋本商店さん（建材・金物）が店を閉じることになった。顔の見えるお店がなくなることはさびしい限りである。

先日たまに寄る御辺地のお店で南部美人と乾物を買って2000円払ったら9円足りなかった。大きなお札を出そうと思ったら『あっ！いいですよ』ち9円負けてくれた。こんなやり取りからディスプレイショップにない古き良「なにか」を感じてついでに足を運んでしまうのだ。



## 編集後記

毎年、ひな人形を飾ろう飾ろうと思いつつ、前日になってしまい、飾らないと娘に何かあっては・・・とってしまう。娘が何歳まで飾るものかと調べると、子を思う親の気持ちから始まったひな人形は、やはり生涯飾ることになるのかな・・・

